



産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例

三洲土木 株式会社

安全衛生情報では会員企業へ伺い、社内における安全衛生の具体的な事例をご紹介します。

今回ご協力いただきました会員企業は、愛知郡東郷町の三洲土木(株)です。代表取締役の金田英治氏は、尾張北支部長としてもご活躍中です。

同社の創業は昭和33年、昨年創業60周年を迎えました。主に土木建設業に取り組む三洲土木(株)ですが、平成元年には本社隣接地にコンクリート廃材のリサイクルプラント「東郷リサイクルセンター」を開設し、いち早くリサイクル事業にも進出されました。企業理念『成長は喜び』を掲げる金田社長に、安全衛生の取組みについてお話しをお伺いしました。



安全衛生委員長の金田社長

令和元年度 安全宣言

我々の仕事である建設業は、ひとりだけの力では何一つやり遂げることができない。ところが心を合わせ、気持ちを一いつにして力を結集すれば、自分の家族や子供たちに誇れる結果を残すことができる。どんなに時代が変化しようとも、この本質は変わらない。そして、仲間と共に困難を乗り越えることができたときの充実感と、やり遂げたときの達成感こそが、更なる困難に立ち向かうエネルギーとなる。

何よりも、日々の小さな安全が守られてこそ、我々の未来は輝かしいものとなる。

安全宣言とは、まず自己宣言から始まる。

わたしたちは、小さなことを大切にします。挨拶を大切にします。身だしなみに気をつけます。そして仲間を大切にします。小さな積み重ねこそが、労働災害や交通災害の絶滅、ひいては地域社会の安心安全につながることを信じて、毎日を大切に行動します。

ご安全に。

令和元年6月24日

三洲土木株式会社
従業員代表 星川 啓太

◆安全衛生への取組み

◎職長会議：月1回

会議には安全コンサルタントの方が参加され、工程説明だけでなく、自社のヒヤリハットや他社の事故事例の共有など安全衛生を中心に取り組んでいる。

◎社内健診

年1回の定期健康診断を実施するとともに、管理栄養士に来ていただき、健診結果を元にした講習会を開催。

健診結果の数値に問題のある社員はもう1度病院での受診を促すなど、「健康経営」に取り組んでいる。

◎安全パトロール等

7/1～7/7に開催される「全国安全週間」に合わせ、現場パトロール、安全講話などを開催。

◎安全大会：年1回

自社社員だけでなく、協力業者にも呼び掛けて開催。

安全功労賞(社員・協力会社)や健康管理実践賞(社員)として表彰。

表彰状の文言は、受賞者一人ひとりに向けて安全を願い金田社長が作成する。



① ② 第22回 安全大会 (令和元年開催)

◆過去事例

対象	事故の型	場所	何がどうした
車両	接触	現場	ダンプカーが入口門を通過する前に、ハンドルを切ったので門扉に接触。
車両	接触	自社駐車場	ダンプカーをバックさせる際、目測を誤り後方のダンプカーに接触。
重機	接触	現場	バックホーにて法面整形時、地盤が悪く足元が崩れシートパイルに接触。
道具	不明	作業所	埋め戻し作業時に、作業道具が損傷したまま置かれていた。
重機	破損	現場	バックホーにて表土のふるい中、石が跳ねて当該重機に当たった。

同社は安全衛生委員会と安全衛生コンサルタントの協力を得て、会社内の安全点検を隈なく行い、年々事故の発生数を減少させています。

